

令和5年度「音楽Ⅰ」シラバス

科目名	単位数	履修	スクーリング回数	レポート回数
音楽Ⅰ	2	選択必履修	8回	6回

1 音楽Ⅰの目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を見に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価について

(1) 評価の観点

①知識・技能

- ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性などについて理解している。

②思考・判断・表現

- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を持っている。

③主体的に学習に取り組む態度

- ・さまざまな音楽表現に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。

スクーリング、レポート、定期考査を①から③の3観点で評価します。

3 使用教材

- ・教科書 音楽Ⅰ tutti+ (教育出版社)

期	面接回数	面接日	題材	学習内容	教科書	レポート
前 期 2 年 次	1	4/16 4/17	表現（歌唱） 鑑賞	<楽典・日本民謡> ・楽典（音名、音符、休符） ・校歌 ・日本民謡	p. 146～149 p. 46～49	第1回
	2	4/23 4/24	表現（歌唱） 鑑賞	<Voice> ・楽典 ・イタリア歌曲 ・日本歌曲 ・ドイツ歌曲	p. 14～15 p. 23～24 p. 28～29 p. 149	第2回
	3	4/30 5/1	表現（器楽・ 創作） 鑑賞	<器楽> ・オーケストラの楽器 ・楽典（三和音）	p. 34～35 p. 146～152 p. 151、83 p. 110	第3回
	4	5/7 5/8	表現（器楽） 鑑賞	<和楽器のしらべ> ・三線、三味線、箏、篠笛	p. 90～95	第4回
	5	5/28 5/29	鑑賞	<舞台芸術> ・オペラ・歌舞伎 ・ミュージカル	p. 128～133	第5回
	6	6/18 6/19	鑑賞	<鑑賞・西洋音楽史> ・ピアノ曲 ・変奏曲 ・交響曲	p. 118～125 p. 148	第6回
	7	6/25 6/26	鑑賞	<西洋音楽史> ・古代～古典派	p. 108～111	第7回
	8	7/2 7/3	鑑賞	<西洋音楽史・振り返り> ・ロマン派～近現代	p. 112～113	第8回
後 期 1 年 次	1	10/1 10/2	表現（歌唱） 鑑賞	<楽典・日本民謡> ・楽典（音名、音符、休符） ・校歌 ・日本民謡	p. 146～149 p. 46～49	第1回
	2	10/8 10/9	表現（歌唱） 鑑賞	<Voice> ・楽典 ・イタリア歌曲 ・日本歌曲 ・ドイツ歌曲	p. 14～15 p. 23～24 p. 28～29 p. 149	第2回
	3	10/15 10/16	表現（器楽・ 創作） 鑑賞	<器楽> ・オーケストラの楽器 ・楽典（三和音）	p. 34～35 p. 146～152 p. 151、83 p. 110	第3回
	4	10/22 10/23	表現（器楽） 鑑賞	<和楽器のしらべ> ・三線、三味線、箏、篠笛	p. 90～95	第4回
	5	10/29 10/30	鑑賞	<舞台芸術> ・オペラ・歌舞伎 ・ミュージカル	p. 128～133	第5回
	6	11/12 11/13	鑑賞	<鑑賞・西洋音楽史> ・ピアノ曲 ・変奏曲 ・交響曲	p. 118～125 p. 148	第6回
	7	11/19 11/20	鑑賞	<西洋音楽史> ・古代～古典派	p. 108～111	第7回
	8	12/3 12/4	鑑賞	<西洋音楽史・振り返り> ・ロマン派～近現代	p. 112～113	第8回

2023（令和5）年度 書道Ⅰ シラバス

教科	科目	単位数		必修・選択	対象学年		スクーリング回数	8回
		前期2	後期2	選択必修	前期1年	後期2・3年	レポート回数	6回
芸術	書道Ⅰ							

1. 学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

2. 授業の概要

- ①「漢字の書」の学習では、書体の変遷の過程や種類、また、臨書学習の意義や拓本の種類などについて理解する。基本的な用筆・運筆・字形・全体の構成について理解し、鑑賞する。臨書学習を中心として基本的な技能を身につける。
- ②「仮名の書」の学習では、仮名の成立や仮名の種類などについて理解する。また、仮名の用具・用材の種類と特徴や仮名の基本的な線の書き方、運筆について理解し、練習する。
- ③「漢字仮名交じりの書」では、漢字の楷書・行書と仮名への調和を確認することで、書体のもたらす印象の違いなどに気づかせたい。

3. 学習方法

- ①自学自習によるレポート学習が中心である。
- ②レポート（理論）は、家で仕上げからスクーリングを受けるようにする。
- ③教科書に掲載されている古典の臨書を中心に学習する。
- ④古典の学習をもとに、作品を構想し表現を工夫して作品を制作する。

4. 評価の観点

- ①知識・技能・
 - ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。
 - ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。
- ②思考・判断・表現
 - ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
- ③主体的に学習に取り組む態度
 - ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

5. 評価の方法

- ①スクーリング・レポート・定期考査を、「知識・技能」・「思考・判断・表現」・「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価で行う。

6. 使用教科書

「書道Ⅰ」 東京書籍 【2 東書 書Ⅰ 701】

7. 授業を受けるに当たって守って欲しい事項

- ①書道の授業は準備と後片付けにある程度時間を割かなければなりません。より充実した授業内容になるように、それらを円滑に行って下さい。授業開始の時には、きちんと着席して準備を完了させておいて下さい。授業終了5分前には、後片付けに取りかかるようにしましょう。
- ②個人の用具、および学校の備品は大切に扱きましょう。特に筆と硯は毎時間ごとに丁寧に洗って下さい。
- ③次の人の為に、後片付けはきちんとしましょう。

令和5年度「沖縄の三線」シラバス

科目名	単位数	履修	スクーリング回数	レポート回数
沖縄の三線	1	学校設定科目	4回	3回

1 「沖縄の三線」の目標

三線の実技を通して沖縄の音楽に親しむとともに、生涯にわたって沖縄の音楽文化を愛好する心情を育成する。

2 「沖縄の三線」の概要

- (1) 三線の名称、歴史、調弦、三線の持ち方、奏法、勘所、工工四の読み方について学ぶ
- (2) 琉歌について学ぶ
- (3) 実技「安里屋ユンタ」等の演奏

3 到達目標

- (1) 三線の基本奏法を身につけ沖縄の音楽文化に親しむ。
- (2) 沖縄の音楽文化に興味関心を持ち、音楽を愛好する心情を育てる。

4 評価の観点

(1) 知識・技能

- ・楽器の特徴と文化的・歴史的背景について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。

(2) 思考・判断・表現

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・郷土の音楽や楽器に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。

5 使用教材 改訂版「楽しい沖縄の三線教室」山内昌也著 発行(株)千野出版事業部

期	面接回数	面接日	題材	学習内容	レポート	評価の観点
前期	1	5/7 5/8	表現（器楽） 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・三線の各部の名称 ・三線の歴史について ・構え方 ・基本奏法 ・勘所の確認 ・楽譜（工工四）の読み方 ・鑑賞（中国の三弦等） 	第1回	
	2	5/14 5/15	表現（器楽） 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・基本奏法練習 ・実技 ・琉歌について ・鑑賞（安里屋ユンタ等） 	第2回	
2 年 次	3	6/18 6/19	表現（歌唱・ 器楽） 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・基本奏法練習 ・西洋楽譜との関係について 「涙そうそう」 ・声楽記号について ・実技 ・鑑賞（組踊等） 	第3回	
	4	6/25 6/26	表現（器楽） 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・基本奏法練習 ・実技 ・鑑賞 ・まとめ 	第4回	